

東京湾水先区水先人会・会報

# ANJIN

vol.4

2016 Autumn

季刊



<http://www.tokyobay-pilot.jp>

ANJIN 第4号 2016年10月1日発行  
発行所／ 東京湾水先区水先人会  
発行人／ 副会長 西本 哲明  
〒231-0023 横浜市中区山下町1番2  
パイロットビル  
TEL 045-650-3180





## 目次 Contents

水先人会とともに歩んで	3
GPS/PPU プログラムのご紹介	4-5
まいジョブ・ぐっジョブ / 水先人といえばハット帽	6-7
期待の星 ~エンジン全開で頑張ります~	8-10
私のキャリア	11
わたしのお気に入り ~趣味特集~	12-13
われらの「遊び場」横須賀編	14-15
「一日横浜海上保安部長」体験記	16
OBだより ~山の上の小さな喫茶店~	17
ANJIN文庫	18
ハイキングサークル「大菩薩嶺」登山レポート / 人事短信	19

表紙 / 海図コピー (海上保安庁・海図 W1086「千葉港中部」から転載)



## 水先人会とともに歩んで

事務局長 五十嵐 登  
(いがらし のぼる)

### <就職時の思い出>

工業高校を卒業後、電気関係の企業へ就職するか、大学進学かと思い悩んでいた頃に、当時の横須賀水先区水先会の事務局長から熱心なお誘いがあったのがご縁の始まりです。船舶関係や港湾関係の業界知識を全く知らない上、社会経験もない自分がやって行けるのか不安はありましたが、何かの縁と思い、昭和46年4月に採用していただきました。

就職当時の水先会は、水先人5名、事務職員2名の小さい組織でした。水先要請の受付事務、水先人や水先艇・曳船への連絡事務、作業日報・水先料請求書の作成、全てアナログな手作業であった故、膨大な業務量で忙しい毎日が続きました。デジタル化した現代とは違い、水先人との連絡方法は、全て電話を使用し、一作業終了毎に水先人から事務所に連絡し、次作業もしくは作業終了の連絡を伝えていました。水先人から連絡が無ければ、契約タクシー会社を経由して連絡したり、駅構内の放送で呼び出したりもしていました。

水先実績隻数は、横須賀港の港内作業が主体で、昭和44年に再開した航行业務と併せても月に約120隻(港内約100隻、航行約20隻)ほど。当時の水先会は経済的に苦しい運営状況だったと記憶しております。その後、船社・代理店への水先要請の働きかけや保安部からの行政指導等もあり、航行业務の要請が徐々に増え始めました。昭和47年には、海員組合の三か月間に亘る長期ストライキがあり、月に400隻以上の要請船(月一人平均40~50作業)に応えるべく、水先人13名と職員3名で休日返上は勿論、寝る間を惜しんで要請船の対応に苦慮した事は今でも忘れられません。



横須賀水先人会・田浦事務所  
(横須賀水先人会25年史から転載)

### <ノウハウの伝承>

採用から45年、長期に渡り私が水先人会と共に歩んで来られたのも数多くの水先人、事務職員、関連団体の皆様との出会いやご指導ご鞭撻を頂いた事が最大の理由ではないかと思っております。また水先法の改正により、東京湾内三水先会が統合し10年という節目を迎えようとしております。統合の運営等に関連した事務処理も、決して順風満帆に事が運んだ訳ではなく、その時々難問が発生していた事もありました。その度に水先会の方々にご迷惑をおかけした事もあったと思っております。事務局は、水先業務を行う水先人のサポート役が基本ですが、受け身の立場を色濃く出してしまうと仕事に対する積極性や熱意が失われてしまう恐れがあり、そうならないようお互いの融和は勿論、協力し合っていく事が肝要かと思っております。

最後に、私も働ける期間が後僅かな年齢に近づいて来ております。前回の会報誌での山崎会長のお言葉を胸に刻み、自分の持っているノウハウをしっかりと後輩に伝承することを忘れないよう、努力していきたいと思っております。

Global Positioning System Portable Pilot Unit

# GPS/PPUプログラム

ご紹介

二級水先人  
大矢 賢太  
(おおや けんた)

PPU (Portable Pilot Unit) はこれまでも様々なシーンで紹介されてきましたが、私自身も最近利用し始めました。すると先輩や仲間から多くの問い合わせを頂きました。また、ハンディGPSは機能の向上に伴い、その利用方法も変化しており、こちらも継続的に多くご質問を頂いています。

そこで、今回はお馴染みGARMIN社のハンディGPSと、PPUの1つであるSEAIqについて紹介させていただきます。

こういった機器には誤差や誤作動・操作ミス等の可能性もあり、「参考情報として」以上の使い方はリスクを伴うこと、また習熟中において機器に頼りすぎるとは、操船感覚を養う妨げになりうるなど、注意すべき点があるのは言うまでもありません。

しかし、あくまで情報ツールの1つとして本船機器と併用すれば、便利なだけでなく、業務の安全性や水先人トレーニングに貢献するものと確信しております。

## GARMIN社のハンディGPSについて

GARMIN (ガーミン) はアメリカのGPSメーカーですが、創業者 Gary Burrell と Min H. Kao 2人の名前の一部を繋げてGARMINとなったのはご存じでしょうか。

色々な機種がありますが、当会で一般的なものは、アンテナの出っ張ったGPSMAPシリーズ(左)です。

私は画面がより大きなMontana(右)を使用しておりますので、説明はMontanaの画面を使用しています。



GPSMAP(左)とMontana(右)

針路	Heading <b>004°</b>	速力	Speed <b>12.0k</b>
次のW.P.	Next Point <b>UC. 1 E.</b>	最終目的地	Destination <b>YH. 1.</b>
次のW.P.の方位	Bearing <b>004°</b>	コースライン	Course <b>004°</b>
次のW.P.までの距離	Distance to Next <b>2.18 n</b>	最終目的地までの距離	Distance to Dest <b>17.5 n</b>
次のW.P.到着予想時刻	ETA at Next <b>06:11</b>	最終目的地到着予想時刻	ETA at Dest <b>07:28</b>

水先人の皆さんのハンディGPSの利用方法は、左の様な文字情報の画面で、針路・速力の表示を基本に、投錨時の位置把握や、応用としてウェイポイント&ルートを設定してのETA表示が一般的であると理解しております。

画面が小さいこともあり海図表示画面での利用は敬遠されがちではありますが、補助線等を設定することで、港内操船でも応用することは可能です。

次ページの図(左)は、横浜本牧D5号バースからの出港例です。入船で着岸している為半径300mのターニングサークル(紫の円)まで下がって回頭させる必要があります。ガーミンの海図表示画面に補助線が入っていると、自分が海図上のどの位置にいるか把握するのに役立ちます。



補助線は、航行業務において投錨する際にも便利です。図(右)は横浜YL4錨地付近の様子を示したのですが、本船が錨地の境界内にあることは補助線により一目瞭然です。

左: GARMIN 画面 (HD5 出港時)  
右: GARMIN 画面 (YL4 錨地)

## PPU (Portable Pilot Unit) SEAIqについて

SEAIqはPPUの1つです。当会の佐藤昌弘水先人が開発に大きく関わったアプリケーションですので、そういった意味で、東京湾水先人の要求に適合するPPUであると言えるのではないのでしょうか。

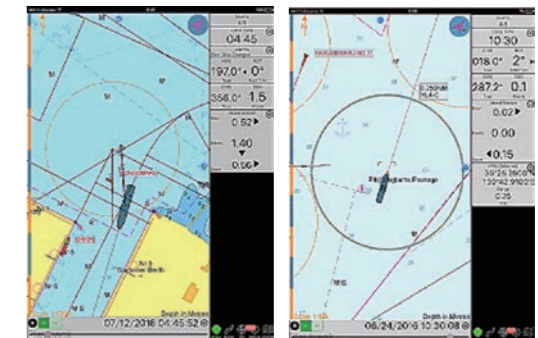
タブレット端末(iPadやAndroid)で動作するアプリケーションで、完全な利用には電子海図と、本船データを受信する為のパイロットプラグが必要です。海図は11枚で東京湾を全てカバーし、1枚当たり€7.65 (2016/7/25)の年契約です。契約期間中は毎週改補情報が送られてきますので、最新の海図を携行できるのも安心な点です。ハンディGPSと違い接続が必要ですが、パイロットプラグとはWi-Fi接続(無線通信)ですので電線を気にすること無くウイングでも操作が可能で、その点ではこちらもハンディと言えるでしょう。

本船と接続することで船首方位を計算に含む事が出来るので、本船の長さや幅など基本要目を入力すれば、前後行き脚はもちろん、船首尾の横移動速度まで、本船の動きを正確に表示します。これに対しGARMINのハンディGPSで表示される針路・速力は、GPS機器本体が移動するベクトルを表しており、本船の挙動を水先人自身がイメージするための情報に止まります。

他船の動静に関しても、本船からAIS情報を受信するため、周囲のAIS搭載船の情報を手元で確認でき、本船搭載のECDISと同等以上の機能を発揮します。掴みづらいタグボートの動きもほぼ現実通りに把握でき、操船上での理解の助けになります。

更に、これらのデータは全て記録可能で、後にデータを再生する事が出来ます。データ自体は他の水先人と共有する事が可能で、例えば、初めて当たる作業でも他の水先人が行った過去の作業の様子を再生するなどしてイメージトレーニングとすることが出来ます。

比較のため、横浜本牧D5号バースからの出港及び、YL4錨地での画面を例として右に示します。ガーミンGPSの画面と比べるとその違いがお分かり頂けると思います。



SEAIq 画面 (HD5 出港時) SEAIq 画面 (YL4 錨地)

以上、GARMIN社のハンディGPS及びSEAIqについてご紹介させていただきましたが、とても頂いたページ数では説明といえるところまでは及ばず、申し訳ございません。

「まずはGARMINの補助線の引き方から」、「いやいやせっかくの新しい便利ツールがあるのなら興味アリ」... どのようなお問い合わせもWelcomeです!

GARMINの各種データやSEAIqの導入方法など、もう少し詳しい内容の説明書も既に作成しております。ご興味のある方は、大矢までお気軽にご連絡いただければと思います。

このたびは、先輩方から戴いたお知恵を、僥越ながら代理する形でご紹介させていただきました。これからも水先人の仲間の皆様のお知恵を戴きつつ、私もまた皆様のお役にできればと願っております。宜しくお願い致します。



# まいジョブぐっジョブ

海上保安官から水先人へ転職されたのは本田水先人。  
そして、事務職員として多彩な業務にかかわってこられた鈴木主任。  
今回は、新コーナーで水先人の帽子も紹介しています。



三級水先人  
**本田 直葵**  
(ほんだ なおき)

## 一隻入魂！

私は船橋出身、浦安在住、元海上保安官の三級水先人です。日本の海を守るという同じ使命のもと職を転じ、平成 25 年 7 月に業務を開始し、3 年が経過しました。「おもかじ、とりかじ、よ～そろ～」の世界から参りましたが、操舵号令ばかりでなく高性能な巡視船艇との操縦性能や船そのものの大きさの違いに、今ではようやく戸惑うことなく、水先人としての自信と信頼を少しは醸成することができるようになったと信じたい所です。

これまで無事に育てて頂いたのは、当会における教育訓練プロセスの賜物であると感じます。当会には水先法に定める制限（三級は「総トン数 2 万トンまで」等）とは別に、現場の実情に応じた経験年数に基づく種々の業務制限がありますが、今般、単独業務開始から 2 年が経過し、三級水先人としてすべての制限が解除されました。今までは対象でなかった通し業務（湾内の航行と離着岸を連続して行うこと）、夜間作業、2 泊 3 日の千葉・木更津当直に入ることができるようになりました。

今まで制限されていただけあって、これらは難易度・危険度の高い作業です。例えば夜間作業では、夜景の影響による他船の灯火や航路標識の判別、他船の針路距離など動静の把握に慣れとコツが必要です。また、千葉・木更津は風潮流の影響を受けやすく、かつその影響が顕著な小型船が多いなどが挙げられます。

このように私は経験を積み、この先果てしなく長く（40 年弱！）も水先人を続けます。将来、より強固に日本の海を守るためには、未来へ責任を持つ事を意識し、海保出身ということを活かした「官民一体の安全対策の橋渡し」など、何が出来るかを考えていく事が重要だと思います。引き続き、我が国の安全を支える陰の立役者として、生涯をかけて奮闘したいと思っております。一隻入魂！！

## 多種多様な業務経験が私の財産 ～17年の軌跡～

三浦生まれ三浦育ちの私の小学校は目の前が海で、教室からは海を行き交う船舶がよく見えました。学校でよく歌った歌詞には「外国通いの船はゆく～♪」というフレーズがありましたが、まさかその「外国通いの船」を嚮導しているパイロットさんが所属する水先人会で仕事をするとは思っていませんでした。平成 11 年に旧横須賀水先人会に就職してから、気が付けば 17 年。振り返ってみると、子供の頃の思い出が就職のきっかけになっていたのかもしれませんが、この 17 年の間には数度の異動があり、多種多様な業務を経験したことで、今の私があると思います。

最初の配属先は業務課でした。作業実績や水先証明書から水先料の請求を行う業務を通じ、船の種類や大きさ、24 時間 365 日昼夜問わず行われてい



経理部 経理グループ  
主任 **鈴木 望**  
(すずきのぞみ)

る水先業務を知り、社会人 1 年目の私にとって見ることも聞くことも全てが新鮮でした。その後、業務内容が異なる海務情報グループへ異動し、本船情報や関係先情報など、様々な情報を扱う業務を行い、情報管理の重要性を教わったと思います。

そして、平成 19 年、水先法の改正により東京湾の水先区が統合され、経理として統合本部立ち上げの事務処理に携わりました。異動に伴い勤務地も横浜へと移りました。これまで携わった水先料金業務や海務情報グループでの知識とは全く異なり、簿記などの知識を習得しながらの業務だったため、習得したことをすぐに実務に活かせることが記憶に残っています。

新人の時に抱いた新鮮な気持ちを忘れず、これまでの経験を活かし、これからも新しい事に挑戦していきたいと思えます。

## 水先人といえば“ハット帽”

皆さんこんにちは！編集部です☆

水先人と言えば、“ハット帽”を被って船に乗り込むイメージですよね!?

水先人がハット帽を被るのは、「入港してきた船員が最初に出会う

日本人として正装で出迎える」ためなんだそうです。

今回は、そんなハット帽を特集します。

水先作業前後に突撃取材。

編集部よりコメントを添えてご紹介します。

ちょっとした話題に使える  
コミュニケーションツール。  
夏空らしい水色ハット



Capt. T. Kuroda

汚れることも多く新品！  
季節によって衣替え！



Capt. K. Ono

女性の天敵 UV をカット！



A. Nishikawa

見た目も Cool！  
夏のメッシュハット。



Capt. T. Yamada



# 期待の星

エンジン全開で  
頑張ります

本年8月1日に採用され、  
オペレーション部に配属になった  
事務職員1名と、  
9月1日に入会した  
三級水先人5名を紹介します。

①出身地 ②趣味・特技 ③乗船した主な船種

## 再び横浜で

皆さん初めまして。今年8月に事務局職員として採用されオペレーション部配属となった若畑と申します。出身地は三重県桑名市です。以前は検定協会のサーベイヤーをしておりました。

水先人会については以前から知ってはいましたが、この度ホームページにて求人募集を出しているのを見つけて水先人会について調べていくうちに、港湾関係においてより公益性の高い仕事をしたいと考え応募させていただきました。

大学入学に伴い東京へ出てきて、就職1年目を横浜で勤務し、その後、栃木・東京・宮城・愛知と転勤してきました。

当時から6年経った今、また横浜で働けることに不思議な縁を感じております。

因みに趣味と言えるか分かりませんが、珈琲が大好きです。飲むのはもちろんですが、自分で豆を挽いて淹れるのも好きです。これからは横浜でお気に入りの喫茶店や珈琲豆を購入できるお店を探していきたいと考えております。

最後になりましたが、このような自己紹介の場を頂きましてありがとうございます。1日でも早く一人前に業務ができるよう全力で頑張ります。多々至らぬ点があるかと思いますが、皆様これからご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



三級水先人  
大前 佳子  
(おおまえ けいこ)

- ①愛知県
- ②旅行
- ③漁業調査船・漁業取締船



三級水先人  
木原 悠貴  
(きはら ゆうき)

- ①東京都
- ②ダイビング・バイオリン
- ③ばら積み船



オペレーション部  
オペレーショングループ  
若畑 雄嗣  
(わかはた ゆうじ)

- ①三重県桑名市
- ②珈琲・読書

## 信頼される水先人になりたい！

私が大学在学中は、三級水先人の制度がありませんでした。当時、水先人の方とお話する機会があった際、「日本の貿易を守る」という姿勢がとても格好良く見え、素晴らしい職業だと思いつつ、雲の上の存在のように感じたのを覚えています。

大学卒業後は、漁業調査船及び取締船の航海士として勤務していました。外航時には、寄港地でパイロットの操船を見ることが度々ありましたが、大型商船から小型船舶まで器用に嚮導する姿を見て、以前に聞いた水先人の方のお話を思い出しました。そんなときに、三級水先人の制度ができたことを知り、自分自身の人生の転機を考えました。そして、水先人への挑戦を決め、この度、当会の一員になることができました。

私は安全運航を第一に、船長や諸先輩方から信頼していただけるような水先人になりたいです。今まで座学で学んできたことや皆様から教えていただいたことを、一つ一つ自分のものにしていき、一步一步確実に成長していけるよう、日々精進してまいります。どうぞ宜しくお願いいたします。

## 海外の若いパイロットに刺激されて

大学卒業後は外航船の船会社に入社し、海上勤務、陸上勤務、子会社への出向などを経て、今年9月より当会に入会いたしました。海上勤務では三国間航路を主とし、日本に寄港することはほとんどなかったのですが、外地では自分よりも若いパイロットが活躍している姿を目の当たりにし、おおいに心を打たれるものがありました。以来、水先人への興味は日に日に増していき、本船に乗船してくるパイロットに話を聞いたり、知人の紹介で現役の水先人と話す機会もあり、水先人への転職を強く意識するようになりました。転職を決めてからは、運とタイミングにも恵まれ、無事にここまでたどり着くことができました。修業中お世話になった方々に感謝申し上げます。今までの経験を活かし、一日も早く一人前の水先人となれるよう努力して参りますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

## きっかけは先生方との雑談

この度、2016年9月より東京湾水先区にて三級水先人として開業しました。

私が水先人を志したのは、大学入学当初の先生方との雑談がきっかけでした。何気ない会話から水先人という職業を知り、当時水先人について何一つ知らなかった私は、強烈な印象を受けたことを今でも覚えています。自分の性格と職についての理想を照らし合わせたところ、船会社に入り船員として働くよりも、厳しい道ではあるが水先人として邁進していくことの方が、自分には適しているのではないかと考えました。

また、様々な種類の船舶を自身の知識や技術を活かして嚮導し、日本の大動脈である海運を現場で支えるという重要な役割を担うことに魅力を感じたことも大きな理由の一つです。

今後はこれらの初心を忘れずに、精一杯水先業務に励んでいきたいと思っております。



三級水先人  
小林 剛丈  
(こばやし たかひろ)

- ①栃木県宇都宮市
- ②音楽・映画鑑賞





三級水先人  
松家 辰徳  
(まついえ たつり)

- ①岡山県
- ②映画鑑賞・サイクリング
- ③カーフェリー

## 颯爽たる異国のパイロット

この度、9月1日より入会いたしました松家辰徳と申します。私は大学の水産専攻科を卒業した後、フェリー会社で約2年勤務いたしました。

私が初めて水先人を見たのは、学生時代の遠洋航海中でした。ニューカレドニアの港への入港時にパイロットとその修業生が、豪快に波を掻き分けるパイロットボートから縄梯子で練習船に乗船してきました。パイロットは昇橋後、船長と冗談を交えながら陽気に話をしていましたが、ひとたび操船となると、真剣そのもので、初めて乗船した船にも関わらず、的確に船を操り、見事に着岸させ、船長と握手を交わし、颯爽たる姿で船を去って行きました。私は未だ実習生でしたが、大きな安心感を抱きました。この時出会った異国のパイロットへの憧れと、様々な種類の船を嚮導できるという魅力を感じ、水先人を目指しました。

入会後も諸先輩方から学ぶべきことは多く、今後ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



## 同年代の水先人に憧れて

私は一般大学卒で、卒業後は船とは全く無縁の陸上の会社に勤めておりましたが、船員の友人の話を聞いているうちに、船の仕事に魅力を感じて船会社に転職しました。そして数年が経ち、船の仕事にも慣れてきた頃、東京湾に入湾する際、水先人をとる機会があり、その時に乗船されたのが三級水先人の方でした。自分と同年代の者が嚮導する姿を見て感動し、憧れを抱きました。

その後、水先制度について調べ、自分でも水先人になることができると知りましたが、水先人は専門の知識と技術が必要であり、経験のない自分ができるだろうか、また挑戦してもいいだろうか・・・といろいろ悩みました。しかし、あの日に見た水先人に対する思いが強く、この道を選びました。

同期生の助けや皆様方のご指導により、実務修習を無事に終えることができ、水先人としてのスタートラインに立つことができました。

未だ知識、経験ともに不足しておりますが、一日も早く諸先輩方のように信頼される水先人になれるよう精進していく所存ですので、どうぞよろしくお願い致します。



三級水先人  
横田 雅司  
(よこた まさし)

- ①広島県広島市
- ②旅行
- ③石灰石運搬船・セメント船



# 私のキャリア My Career



当会に入会した水先人、または採用された事務職員の多くは、他の職場での勤務経歴をもっています。そんな職歴を聞いてみると、なかなか興味深いものが多いことに驚きます。そこで、今回から「私のキャリア」と題して、いろいろな経歴を伺ってみることにしました。トップバッターは、一級水先人の濱田さん。客船『飛鳥』の副船長へ至る第一歩は、「ホテル学校」での修行だったそうです。

## 客船『飛鳥』への道…HOSPITALITY(接遇)

「え～俺が…」それは突然だった。

「1年間ホテル学校へ通うように」と会社から御下命を受けたのは客船『飛鳥』就航の1年前であった。

高田馬場にあるホテル専門学校の専攻科に入学。同級生はホテルの跡取り、国内外ホテルへの就職希望者、大手ホテル在籍者の再教育、と理由もさることながら年齢もバラバラ、私(32歳)はその中で限りなくおじさんの部類であった。カリキュラムは、①経営・管理②創業計画・渉外儀礼③ホテルマンとしての講義・ゼミ等。徹底的に教え込まれたのは『HOSPITALITY・接遇』であり、人を相手に思いを伝えることやおもてなしに、とてつもない難しさとお深さを感じる日々を過ごすことになった。そんな中でユニークな出来事は学園祭だった。髭面の面々が女装し、オカマバーをオープン。「なんだ？この感覚は？心の奥深くに渦巻く変身願望？」この経験は後に客船時代の女装でも違和感を払拭できるきっかけとなった。客船の Long Cruise のフィナーレを飾る催し物に Crew Show がある。乗組員による学芸会といったところで、歌やダンス、寸劇と各部署の乗組員が演ずる show でなかなかの出来栄である。数多く出演した中で、私にとって一番の大役はシンデレラだった。



▲ Crew showでのシンデレラ姿 (左:筆者)

お盆休みの8月中旬、ベレー帽とユニホームに身を包み紀尾井町のホテルでベルボーイの研修。夏の暑さのためだけではなく、冷ややかな汗が流れた。仕事は客室へのご案内、メッセージ配布、ラゲージ集荷等、実習生とはいえ、ホテルにとってはお客様との最前線(第一コンタクト)、第一印象を与える場であり、それは水先人の入港船舶との第一コンタクトに通じるものである。そして、1年間の学習の最後に最大のお楽しみ10日間の『ヨーロッパ研修旅行』。「海外の一流ホテルを知る」がコンセプトで、行程はフランクフルト・バーデンバーデン・パリ・ローマ・ロンドンと4ヶ国・5都市の名だたるホテルの宿泊と観光であった。

1992年1月、意気揚々と客船へ乗り込んだ。接客は学んだ「どんと来い!!」である。だが、お客様と接するホテル部門ではなく、運航部・一等航海士としての乗船。その後、副船長までの14年間、世界50ヶ国以上、国内外300港近くの入出港を乗客と共に過ごしてきた。ホテル学校で学んだ『HOSPITALITY』、ヨーロッパ研修旅行で体験した『service』は客船の仕事に大いに役立った。「貨物船の荷物は口をきかないが、客船の荷物(乗客)は口をきく」…その通り。多くの乗客からの感謝の言葉、幾多の声が今も耳に残っている。



◀ サンセット間近のホノルル出航(船橋ウイングにて/左:筆者)



MY FAVORITE  
わたしのお気に入り

趣味特集

今回は「趣味特集」です。

嶋田謨徳水先人、オペレーション部・内田武志次長、  
そして綿森繁樹水先人の「趣味」を  
伺ってきました！

一級水先人  
嶋田 謨徳  
(しまだ ふみのり)



芸人“嶋田 如山”

初めて乗船した当時、長い航海の徒然に何か楽器を演奏出来ればと思っていた所、それは突然にやって来た。月明かりの船尾で操舵手が朗々と奏している尺八の音。その妙音は、まるで波が寄せるが如く、引くが如く私の心に沁み入り、真に琴線に触れた瞬間だった。

下船後、故郷秋田で、都山流竹林軒大師範（尺八の世界では最高位）である板倉羽山先生の門を叩き、私の竹道修行が始まった。東京での陸上勤務時には羽山先生の師であるプロ尺八演奏家、磯野茶山師に預り弟子として師事。また、人間国宝で現在活躍中の絃方（琴、三絃）の諸先生方と多くの演奏活動に参加。この頃が芸人“嶋田如山”として最も充実し、輝いていた頃だろう。両先生没後に独り立ちし、都山流最高位の職格者となった。ここまで来られたのも「継続は力なり」であろうか。

尺八は竹で出来ており乾燥には弱く割れやすい。非常に繊細な楽器であるため手入れは欠かせない。現在、体調を崩し、思う様に吹けないが、リハビリと手入れを兼ねて時々手慰みに三曲合奏（琴、三絃、尺八）の“古曲”や尺八本来の“本曲”を名管“露秋”作の尺八で吹奏するのが、私だけのお気に入りの時間である。



ゴルフボールの蘊蓄《クレター=デインプル》

オペレーション部  
オペレーショングループ  
次長 内田 武志  
(うちだ たけし)

水先人会に就職後、長い月日がたち、気がつけばあと数年で退職を迎えようとしております。趣味はゴルフで、時には夫婦と一緒に楽しんでおり、実は大会にも出場したりします。有名なゴルフ場にも足を運んできました。

中でも一番印象的だったのは、世界的にも景色が良いことで有名なハワイのショートコースで、数年前に旅行を兼ねてゴルフも楽しむことができました。

そこで少しゴルフのお話をさせて戴こうと思います。ゴルフボールの表面に小さなクレターがあります。実は 336 個が主流です。なぜ主流かという、石から始まったと言われるゴルフボールは、羽毛を皮で包み手縫いしたボールから、天然ゴムを固めて量産できるボールへと進化していきました。進化した天然ゴム製ボールは、使い込むことで表面に傷ができ、その傷により“まっすぐ飛ぶ”ことが判りました。これが更に進化し、現在のクレター「デインプル」がつけられるようになりました。

今年の目標スコアは 72 です。これからも健康を維持し、ゴルフ生活を充実させたいと思います。

一級水先人  
綿森 繁樹  
(わたもり しげき)

精一杯“今”を楽しむ

ゴルフは、水先人になるまで、ほとんどスコア 100 も切れず、あまり楽しいものだと思いませんでした。水先人になって、先輩水先人の勧めもあり、近くのゴルフ場の会員権を取得し、ラウンドする機会が増えると、その奥深さにのめり込むようになりました。4 年前より、健康維持も考慮して出来る限り週 1 回程度を目標としながら、懇親ゴルフへの出場回数も増えてきました。今年は半年で、7 回の出場のうち 5 回優勝と、スコアは大したことがなくても新ペリア方式というハンディーキャップ算出方式に恵まれた幸運で、仲間も増え、ますますその面白さにはまっています。

ゴルフも夫婦で楽しんでいます。その他、月 1 回程度で水先関係者と水先人夫婦が参加する横須賀卓球クラブの活動も楽しく、練習で汗を流した後に飲むビールの味も格別です。更に、私は仕事でなかなか出られないのですが、地域の人たちとも月 2 回程度テニスもやっています。

とにかく水先人の定年を待たず、時間の許す限り色々な趣味に挑戦し、今を楽しく精一杯生きています。





# われらの / 遊び場 横須賀編

一級水先人 井上好雄  
(いのうえ よしお)

## 第4回 横須賀 周辺

三級水先人 夏井裕希  
(なつい ひろき)

ここは、職場周辺の観光スポットや飲み屋などの遊び場を紹介していくコーナーです。

今回は、横須賀港の歴史を語る上で重要な人物、そしてその人物達と縁のある名所についてご紹介いたします。

### <三浦按針の歴史>

当会報『ANJIN』の名前の由来は、みなさんご存じの通り『按針』（水先案内人の意）から来ています。按針と言えば、三浦按針。関ヶ原の戦いの約半年前の1600年4月29日、黒島（大分県臼杵湾内にある島）にオランダ船リーフデ号が漂着し、その水先案内人として乗船していたウィリアム・アダムの日本語名が三浦按針なのです。



三浦按針供養塔

アダムは船大工としての経験を買われ、徳川家康の命により80トン、120トンの洋式帆船を日本で初めて建造しました。家康にこの功績を賞されたアダムは、1605年に帯刀を許され、相州三浦郡逸見村（現在の横須賀市西逸見町東逸見町あたり）に250石を所有する旗本に取り立てられました。このとき、「三浦按針」（三浦：領地の三浦半島に因む。按針：アダムの職業である水先案内人の意）と名乗る日本の武士となり、その後の生涯を日本の地で過ごしました。その供養塔が京急安針塚駅から歩いて25分ほどの県立塚山公園にあります。この公園は、横須賀の街を一望できる美しい眺めと四季折々の自然を堪能できることで有名です。



浦賀奉行所模型

### <浦賀の奉行所>

ところで、浦賀に奉行所があったことをご存じでしたか？ 船の積み荷の検査、海の関所、三浦半島の天領の支配、沿岸警備、海難救助などの業務を行うため、徳川吉宗が1720年12月浦賀に奉行所を設置しました。その浦賀奉行所跡が西浦賀5

丁目にあります。その浦賀奉行所は、2020年東京オリンピック開催年に300年を迎えます。現在、浦賀奉行所は小さな掘割や石橋などが当時のまま残っているだけですが、浦賀奉行所を復元させようという活動が今年から始まりました（浦賀奉行所復元協議会）。みなさん、もし興味があればご協力をお願いします。

1853年にペリーが浦賀に来航した時、浦賀奉行所の与力であった中島三郎助が黒船に乗り込んだ最初の日本人でした。中島は与力と言う身分を隠し副奉行としてペリーと交渉、その後西洋式大型軍艦『鳳凰丸』の建造を指揮し、艦長に就任しました。また、勝海舟や榎本武揚らとともに、造船学・航海術・砲術を学び、軍艦操練所の教授方となって後進を指導するなど、幕府海軍の整備・育成に尽力しました。さらに、幕末の始まりである黒船来航と、幕末の終わりである箱館戦争に深く関わった希有な人物として知られております。また、中島三郎助は幕臣として函館戦争に参加し、



ペリー記念碑前で記念撮影  
※左から…夏井・井上・雨宮(敬称略)

中島三郎助招魂碑



五稜郭にて戦死しています。その関係で、函館市中島町と横須賀市浦賀町は交流を続けており、毎年浦賀ドック跡地では、『中島三郎助まつり』が行われています。

### <文明開化の始まり>

1865年に建設が始まった横須賀製鉄所（造船所）…この時この地から日本の文明開化が始まりました。この製鉄所を建設するにあたり、日本で最初にメートル法が使われたり、これまでの労働時間は日出から日没までと曖昧なものでしかなかったものが、西洋式の時計を使用して労働時間を管理するようになり、今の日本の労働体系の基礎ができました。この横須賀製鉄所（造船所）建設を計画した小栗上野介忠順（おぐりこうずけのすけただま）は、1860年に日米修好通商条約批准書交換のため米艦『ポーハタン号』に乗船して、随行艦『咸臨丸』と共に渡米し、日本人で初めて地球一周の船旅をした人物です。

彼はその後、幕府の財政立て直しを指揮するために勘定奉行に就任し、日本を近代化に導くために、横須賀製鉄所（造船所）建設の責任者としてフランソワ・レオンス・ヴェルニー（フランス人の造船技師）を任命しました。現在、横須賀製鉄所（造船所）は日米軍横須賀海軍基地となっており、昨年で創設150周年を迎えました。この人達を偲んで毎年『ヴェルニー・小栗祭典』が開かれています。汐入にあるヴェルニー公園は、フランス庭園様式を取り入れ、約2,000株のバラが彩りを添えている美しい公園で、散歩するには絶好のスポットです。

横須賀には、幕末の初めから終わりまで日本の発展に貢献した人物が多く存在し、その人物が活躍した場所が今でも残されています。現在、その場所は公園として整備されている所が多く、観光スポットとなっています。今回は、上記の方たちに焦点を当てて、彼らに深く関わりのある場所を一級水先人井上好雄のガイドのもと、三級水先人夏井及び雨宮の三人で散策してきました。この散策ルートを下記の地図にまとめましたので、興味がある方はぜひ行ってみたい下さい。



## 耳より情報

横須賀事務所から東亜丸（パイロットボート）の乗船場へ向かう途中に建設中の施設が何か、皆さんご存じですか？なんと…日帰り温泉施設ができるのだそうです！！  
まだ営業開始日や営業時間などは不明ですが、「夜直明け」や「当直待ち」などの空き時間には行ってみたいものです。

※上記の文章および写真は、基本的に筆者取材によるものですが、「横須賀市HP」「Wikipedia」のウェブページも参考にさせていただきました。なお、「浦賀奉行所模型」「横須賀製鉄所（造船所）1876年撮影」の写真は、それぞれ浦賀コミュニティセンター分館、横須賀市人文・自然博物館の許可を得て撮影・掲載させて頂きました。



横須賀製鉄所（造船所）…1876年撮影



# 一日横浜海上保安部長

体験記

オペレーション部  
オペレーショングループ  
馬淵 詩織  
(まぶち しおり)

関東圏の生活を支え、人や物を運ぶ船舶が大小問わず一日 500 隻以上航行する東京湾。中でも、国際コンテナ戦略港湾でもある横浜港では、「海の安全運動・海難防止活動」の啓発活動として、毎年夏に大きなイベントが開催されます。なんと今回、私が一日横浜海上保安部長として、去る7月17日(日)に八景島で開催された「海の安全運動オープニングセレモニー」に出席することになりました。

気温 30 度、時に吹く海風が心地よい真夏日。横浜海上防災基地で制服に身を包み、一日横浜海上保安部長を拝命。巡視艇「いそづき」の船長と「敬礼」であいさつを交わし乗船。会場となる八景島シーパラダイスに向けて出港！

到着後、八景島への来客者数の多さに圧倒され、緊張しながらの PR 活動スタートです！



▲ 拝命

## ストラップ作成教室やミニ制服試着会

ロープワークを応用した、海難防止の願いが「叶う」ストラップ作成教室。子供達に囲まれるも、さすが海上保安官、巧みなロープワークで沢山の願いが誕生しました。また、ミニ制服試着会では、親子で試着してイメージキャラクターの「うみまる・うみみん」と記念撮影！私も今回袖を通させて頂きましたが、この真っ白な制服を着ているからこそ！園内を歩けば常に注目を浴び、日頃体験する事の出来ない「制服の重み」を痛感しました。



▲ 「うみまる」と

## 海上保安庁音楽隊の「SAZANAMI コンサート」

演奏を通じて海上保安庁をより広く PR する事を目的として結成され、29 年目を迎えた海上保安庁音楽隊。私の司会進行でコンサートが開始。ちなみに音楽隊の方々には保安庁職員として日々の業務をこなしながら演奏活動を行い、全国を飛び回っているとの事。真っ白な制服に金色の楽器が光っており、奏でる音に引込まれ、暑い中立ち行く人も足を止めてしまうほど素晴らしい演奏。私も任務を忘れて聞き入ってしまいました。



▲ 音楽隊

## 巡視艇「いそづき」の一般公開とプレジャーボート体験航海

プレジャーボート体験航海では、ライフジャケットを着用して島をぐるっと一周。絶え間なく多くの方々にご参加いただき、実際にボートに乗ることで「ライフジャケットの重要性」を体験して頂けるイベントです。そして海難救助等で活躍する巡視艇「いそづき」の船内公開。一年に一度の貴重な一般公開です。八景島での任務を無事に終え、この「いそづき」に乗って八景島から防災基地への帰路、横浜沖を行き交う複数のプレジャーボートとすれ違いましたが、印象的だったのは、水着姿で船上パーティーを楽しむボート。ライフジャケット着用は重要ですよ。そしてどんな船の動きにも敏感な保安官の皆さん、こうして海の安全が守られているのだと体験しました。



▲ いそづき集合写真

感想

一生に一度しかない時間、言葉では言い表す事の出来ない程の貴重な体験でした。海の安全に携わる仕事をしている故、改めて身が引締る経験をさせて頂きました。最後になりましたが、イベント関係者の皆様へ心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

# OBだより

## 山の上の小さな喫茶店

(元)水先人  
山岡 景彬  
(やまおか かげあき)



▲ マスター山岡

### 北海道への誘い

ふと窓の外を見ると、薄暗がりの中キラキラと輝いていた街の灯りが真っ白なベールに被われ、目隠しされたかのように何も見えない。暫くすると夜が明け、風も少し出てきた。すると、街を被っていた真っ白なベールがあっという間に剥ぎ取られ、美しい朝焼けの景色が眼下に広がった。時に眼下の大野平野は雲海に被われ、まるで一幅の水墨画を見ているようにとても幻想的になる。この様な現象は一年を通して何回も見る事ができる。

この辺りは 3 月中旬を過ぎると、雪も殆ど無くなり、新緑の季節を迎える。雑草ばかりの庭も色とり取りの花に被われ、黄色と白の絨毯になる。黄色はタンポポ、白はクローバー。9 月には短い夏が終わり、一気に紅葉の季節となる。私が好きなのは 10 月から濃い紅色となる「どうだんつつじ」の垣根や「ナナカマド」の樹林で、私の散歩道に多く見られ、豊かな気持ちにさせてくれる。ただここ数年、春先と秋口に私の散歩道近辺までヒグマが出没するようになり、少し心配なところでもある。11 月には雪虫が飛び、雪の季節の訪れを告げる。このように四季の移ろいを感じるここ「あずまし」は、北海道亀田郡七飯(ななえ)町上藤城、私が営む喫茶店。



▲ 「あずまし」遠望

七飯町と言っても殆ど誰も知らないと思うが、函館の中心地から北西方向に車で 30 分程の山の中腹にあり、新しく開通した北海道新幹線の新函館北斗駅が眼下に見える。

### 新たな生活を求めて

私が何故、北海道の七飯町に決めたか不思議に思われるかもしれないが、45 年間に渡り、海上生活しか知らない人生と全く異なる生活をしてみたいと言う気持ちが強く、しかも、北の大地に憧れを持っていた。勿論、事前に何度も函館・七飯方面に旅をし、今の場所を決めた。七飯町は北海道の道央に較べると積雪はあまり多くない。夏季は 30 度を超える日がせいぜい数日程度で、暑いと言っても 25-26 度程度で気持ちの好い気候。夜は窓を閉めなければ寒いくらい涼しい。しかも、海産物に酪農品、米や野菜も豊富でとても美味しく、生活には快適な環境で、大いに気に入った要因の一つだ。



▲ お客さんと共に

2013 年 4 月末に水先人会を退会し、住居も隣接したこの喫茶店を 6 月から借り、喫茶店のマスターとして自前の焙煎したコーヒーと手作りケーキなどを提供している。特に劇的でドラマチックでもなく、取り留めの無い話であるかもしれないが、自分にとっては全く知らない土地で、慣れない喫茶店のマスターをしながらお客様と楽しい時間を過ごし、北国の人々や物に接し、実に楽しく有意義な時間を過ごさせてもらっている。一年の半分はここ七飯町で過ごし、雪虫が飛ぶ頃に東京の自宅へ戻ると言う生活をしており、元気な間は続けたいと考えている。当然ながら、このような自分勝手な生き方をさせてくれる家族にはただただ感謝、感謝である。

私が水先人であった事を知る人も少なくなり、水先人も急速に若返り、退会後の人生も多様になる時代が直ぐに来るように感じられる。私の場合は少し早めに退会し、全く違う生活を選択したことを楽しんでおり、悪くなかったと思っている。

最後になりましたが、現役の皆様の御安航を心よりお祈りしております。

DATA

### 喫茶店 あずまし

「あずまし」とは、津軽弁で「落ち着いて、心地よい」の意

<http://azumashi-cafe.jimdo.com>



# ANJIN 文庫

一級水先人 大須賀 祥浩  
(おおすか よしひろ)

仕事から水先人は移動や待ち時間が多く、そんな時間に本を読む人が少ない。つい読み捨ててしまいがちだが、その内容に感心した本も少なくないはず。そうした本をこのコーナーで紹介し、できれば読み終わった本を各事務所の本棚(「ANJIN 文庫」の表記あり)へ寄付していただく、という企画です。もちろん、本コーナーへ寄稿した人でなくても、読み終わったお勧めの本を「ANJIN 文庫」へ入れてくだされば有り難く利用させていただきます。

「ANJIN文庫」の利用ルールは  
いたって簡単

①「ANJIN 文庫」は本部・横須賀・東京・千葉・木更津の各事務所(5カ所)に設置する。

【本部】…4F 水先人執務室 【横須賀事務所】…2F 水先人談話室  
【東京事務所】…2F 水先人控室 【千葉事務所】…1F 階段下倉庫 【木更津事務所】…1F 水先人執務室

②上記の各事務所で勤務する水先人・事務職員が利用できる。

③読みたい本を借り出し、読み終われば「ANJIN 文庫(どの事務所でも可)」へ返却する。

④本の在庫が過剰となった場合などには、他の事務所への移動などの対応を実施する。

⑤管理責任者や記録帳などは置かない。各自の良識のもとに運用する。

利用  
ルール

いつの間にか、ちょっとした図書館なみに…  
などという日が来るかもしれません。  
皆で、そんな本棚を育ててみませんか?

それでは、初回のご紹介。

## 白洲次郎『100の言葉』別冊宝島編集部 編(宝島社)

テレビドラマに取り上げられたりして知名度が高いわりに、白洲次郎の実像はあまり理解されていないように思う。彼の履歴をざっと書き出してみよう。(同書から一部抜粋して要約)



▲白洲次郎 「100の言葉」別冊宝島編集部 編(宝島社)

明治 35 年	兵庫県芦屋で誕生。父は綿貿易商。
大正 8 年(17 歳)	旧制中学を卒業後、ケンブリッジ大学へ入学。その後、大学院へ進学。
昭和 3 年(26 歳)	父の会社が金融恐慌の煽りで倒産。帰国後、東京の英字新聞社で勤務。
昭和 12 年(35 歳)	日本食糧工業の取締役役に就任。鯨油の輸出でイギリスとかかわり、英国大使であった吉田茂と親交を深める。
昭和 20 年(43 歳)	外相吉田茂に頼まれ「終戦連絡中央事務局」参加に就任。
昭和 24 年(47 歳)	吉田首相の特使として渡米。講和条約交渉にあたる。
昭和 26 年(49 歳)	東北電力会長に就任。
昭和 34 年(57 歳)	東北電力会長を退任。その後、政財界の第一線から退く。
昭和 60 年(83 歳)	死去。遺言書は「葬式無用、戒名不用」の 2 行のみ。

白洲次郎の業績に関する詳細は別の本に譲るとして、本書では彼の短い言葉とその背景が、見開き 2 ページに簡潔にまとめられている。(以下、同書から一部抜粋して要約)

「おまえ、自分ではどう思うんだ？」

日本人にありがちな、周りの様子をうかがい、  
ともすれば自分の意見を持たないようなあり方を戒めて。

「人に好かれようと思って仕事をするな。むしろ半分の人間に積極的に嫌われるように努力しないとちゃんとした仕事はできねえぞ」

状況や相手によらず常に「筋を通す」のが白洲の信念。

「使命が終わればやめるがよろしい」

白洲の処世の美学。サンフランシスコ講和条約調印の大役を果たした吉田茂にも、「あとは後進に譲り、ゆっくりしてください」と語っている。

いずれも、彼の死後 30 年が過ぎた現在でも耳の痛い言葉ばかりである。特に、57 歳で政財界の第一線から退いた後、自らを「カントリージェントルマン」と称して自由な時間を過ごした彼の生き方は、われら old boys への貴重な啓蒙ではないだろうか。

## 登山レポート Hiking Circle Report

### 『大菩薩嶺』

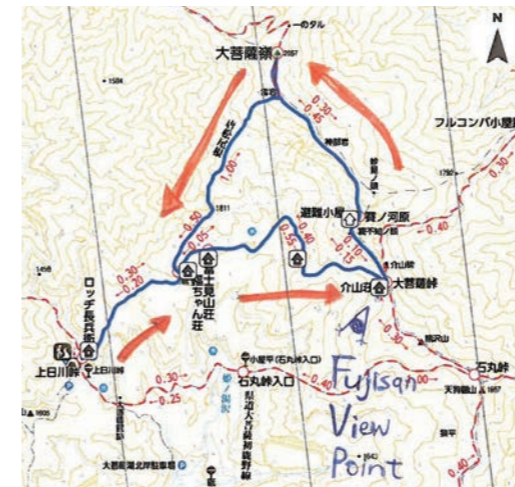
ハイキングサークル部長 網井 大輔  
(あみい だいすけ)

ハイキングサークル第 1 回の行事として、去る 7 月 17 日、山梨県の大菩薩嶺(標高 2,056m)に登ってきました! 船藏常務理事の嚮導による 3 名でのパーティーです。この大菩薩嶺(日本百名山の一座)は、富士山の裾から頂までがとても美しく見える事で有名です(しかも、それほど苦労せずに!!)。だからこそ、第一弾としての山に選んだ訳です。



▲大菩薩峠にて

▲大菩薩嶺を制覇!  
※左から…船藏・高折・網井(敬称略)



ハイキングルート

さて、登山口の上日川峠へと車で向かう道は霧に閉ざされて真っ白、視界不良。カーブのその先には、最近話題の熊でも潜んでいるのでは!? という雰囲気。さらに、1,500m 付近まで標高を上げると、さっきまで汗ばんでいた体を冷やした空気が包みます(標高 100m 登ると 0.6℃気温が下がる)。梅雨明け前に登山を計画した自分を猛省しつつ、悟られぬようカラ元気準備を整え、登山開始…

霧をかき分け歩く事 10 分、その時は突然やってきました。霧は晴れ、青空が顔を出し、振り返った森の切れ目の奥に黒くそびえる富士山。介山荘付近で景色が広がったところで、雲海に浮かぶ富士山。この景色を独り占めする為、私は登ります。(メンバー募集中!)

## 人事短信

### 表彰 平成 28 年「海の日」 国土交通大臣表彰 及び 運輸局長表彰について

平成 28 年「海の日」にあたり、当会水先人が 7 月 18 日付けで以下のとおり表彰されました。(敬称略)

#### 《国土交通大臣表彰》… 9 名

中台 紘、福永 昭一、森 富二夫、竹内 尚武、三角 安洲男、守口 恭之輔、  
乗越 保、鎌田 勝洋、長塚 正敏

#### 《関東運輸局長表彰》… 24 名

戸澤 明雄、坂崎 清、石塚 隆一、重田 秀人、中川 敏、筒井 哲、  
原 明正、池田 隆史、木田 久男、小早川 清二、松下 良興、松本 清彦、  
宮代 道夫、山崎 正敏、江村 正、嶋田 諤徳、大宮 博孝、紺頼 英雄、  
西本 哲明、松永 逸郎、齋藤 雅、松田 伸一、船藏 和久、村田 嘉隆

### 職員人事 9 月 1 日付けを以って次のとおり辞令が発令されました。【旧職名】

オペレーション部オペレーショングループ 次長 渡邊 大樹【経理部経理グループ長(次長)】  
経理部次長 兼 経理グループ長 伊藤 理絵【経理部次長】  
経理部水先料請求グループ 係長 鈴木 香代【オペレーション部オペレーショングループ受付チーム係長】  
経理部経理グループ主任(総務部総務グループ兼任) 鈴木 望【経理部経理グループ主任】